

本の進化を探ってみよう

11月の新図書館オープンまで、市立図書館はお休みです。
学校図書館や、書店などで、すてきな本に出会えますように。

紙が発明される前 (紀元前3000年ごろから)

- ・粘土板
- ・石
- ・パピルス(植物の茎)
- ・木簡、竹簡(木や竹の札をひもでつないだもの)
- ・羊皮紙(羊などの動物の皮)

文字や絵を記録するため、世界各地でさまざまな素材が使われていましたが、紙を作る技法が中国で完成され、次第に各地に広まりました。本はとても貴重なものでした。



印刷のはじまり

ヨーロッパでは、羊皮紙が使われるようになり、もともと巻物の形だった本が、現在のようない角い冊子状になりました。

それまでの本は1冊1冊、手で書き写したものでしたが、15世紀にグーテンベルクが活版印刷を発明し、美しい文字の本を大量に印刷することができるようになりました。

現在の本

日本で最初の本は、紙でつくられました。仏教を広めるためのものが主でしたが、時代を経て、読み物などさまざまな本がつくられるようになり、子どもから大人まで広く愛されてきました。明治時代に西洋の印刷技術が取り入れられ、第二次大戦後の空前の出版ブームへとつながりました。

「電子書籍の長所」

- ・置き場所に困らない
- ・インターネットを活用すれば、いつでもどこからでも閲覧できる
- ・汚れない、傷まない
- ・音声や動画の情報を付加できる…など

11月に開館する新図書館には、図書約13万冊、電子書籍、新聞、雑誌、CD、DVDなどが所蔵されます。

電子書籍の時代へ

2010年ごろ、スマートフォンなどの電子書籍を読む機器や電子書籍を販売する新たな仕組みが続々登場しました。形態は変わっても、伝えたいことを文字によって伝えていくことは、石や木の本の時代と同じです。これからの本はどのように進化していくのでしょうか。楽しみです。

トピックス TOPICS

押野・能登島公民館 地域間交流事業

七尾市の能登島公民館と押野公民館の交流事業が行われ、8月1日(火)、2日(水)には押野から能登島へ、5日(土)、6日(日)には能登島から押野へと相互に訪問し合いました。この事業は県の交流事業の一環。体験を通して子どもたちに学んでもらうことを目的に行われるもので、今回押野公民館と能登島公民館との交流機会が設けられ、実施することができました。

能登島では、勝尾崎での地引き綱やウミホタル観察、ピザ作りなどを体験。押野の子も能登島の子も元気いっぱい、すぐに仲良くなれました。

野々市市を訪れた5日(土)には、押野公民館にて竹とんぼ作りを体験。中敷孫次さんの指導のもと、子どもたちは竹をやすりで削り、火であぶって曲げて思い思いの絵柄をつけ、自分だけの竹とんぼを完成させました。その他金沢工業大学の見学やふるさと歴史館での勾玉作りなどもあり、夏休みを満喫した貴重な4日間となりました。



みんなで記念撮影



竹とんぼ作りにはコツがいっぱい。上手に作れたかな？

JR 野々市駅まで徒歩 10 分

つばきの郷住宅

2LDK 2室空き有り

<入居資格>

月収 158,000 円以上の世帯のうち
(上記の月収を超える見込みの方を含みます)

- ・18歳未満のお子様のいる世帯
- ・申込者が60歳以上の夫婦の世帯

入居者募集中

建築住宅課 (☎ 227-6087) まで

「エンディングノートを書く前に知っておきたい5つのポイント」ミニ講座

日時: 9月24(日) 13:30~15:00

●会場 情報交流館カメラア

301研修室 先着8名

参加無料 要予約



(株)フロンティア 相続診断士 野澤領

☎ 0120-46-0269

新時代の印刷は ショセキへ。

チラシ制作からWEB・AR(拡張現実)制作まで

印刷は **ショセキ** 70年

株式会社 ショセキ

- ・本社 金沢市香林坊1-2-24
- ・白山工場 白山市鹿島町2-17-1
- ・東京支店
- ・高岡支店

お気軽にお問い合わせください www.syoseki.co.jp

TEL 076・233・1151